

安全性能基準に向けて ～交通事故防止技術の現状と課題～ 学習会 ご案内

クルマ社会を問い直す会

クルマがもたらす迷惑・被害に対しては、その迷惑・被害の発生を抑制するように①**規制**し、それでも尚残る迷惑・被害に対しては相当金額を②**課税**し、その税をもとに迷惑・被害を被る人に③**補償**する政策(あるいはその代替策)を講じるべきと考えます。今回の学習会は①規制に関わる企画です。

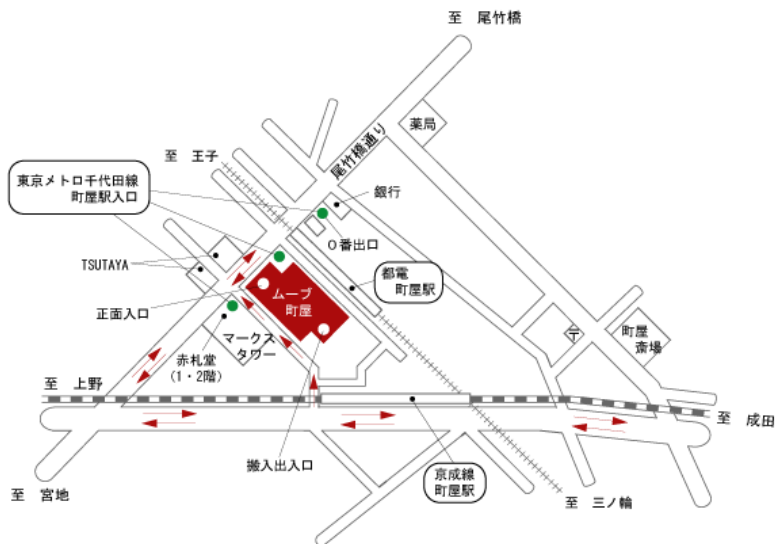
クルマの排気ガスによる喘息被害に対しては、(PM2.5 についての排出基準がまだ決められていないなど十分とは言えませんが、一応)ガスの排出基準が決められ規制されています。しかし交通事故被害に対しては、クルマ自身に対する見るべき規制は何ら為されていません。クルマ自身のハードな性能として衝突予防、制限速度遵守、信号遵守、飲酒運転防止の機能を装備すべしという規制はなされていません。

本学習会においては、**衝突予防、制限速度遵守、信号遵守、飲酒運転防止**などの技術について、企業・行政の取り組み状況を概観し、規制基準策定の展望について考えたいと思います。

主催： クルマ社会を問い直す会
報告者： 杉田正明 世話人
日時： **2011年2月20日(日) 2:00~4:00**
場所： ムーブ町屋 ミニギャラリー

東京都荒川区荒川7-50-9 センターまちや 4F

- ・地下鉄千代田線 町屋駅 0番出口より 徒歩1分
- ・京成線 町屋駅より 徒歩1分
- ・都電町屋駅より 徒歩1分



参加： 会員以外も自由
参加費： 無料